

化学で使われる量・単位・記号

日本化学会 単位・記号専門委員会

この資料は“物理化学で用いられる量・単位・記号”要約版（参考文献1）に基づいて、一部を最新の資料により補足修正したものである。本資料に収録された内容は、国際純正・応用化学連合IUPACの資料（参考文献2）を基礎として、その資料の中で最もよく用いられる単位と基礎物理定数に関する情報を抜粋している。単位と基礎物理定数に関する最新情報と、物理量の用語および訳語と記号の使い方については、末尾の参考文献を参照されたい。

1. SI 基本単位と物理量

物理量（自明のときには量と略してもよい）の値は、一般に「数値と単位の積」として表される。たとえば、「本冊子の横幅の長さ l は21 cmである」というのは、「長さを国際的に合意された“cm”という単位との比で表すと、 l はcmの21倍である」という意味であり、 $l/cm=21$ または $l=21\text{ cm}$ と表される。単位の名称・定義・記号に関する合意は、国際度量衡総会で行われている。

下記の7個の基本量の、積または商の形で表した次元系を用いると、いろいろな量を組立てることができる。国際単位系（略してSI）は、これら7個の基本量がもつ次元にそれぞれ対応する次元をもつ7個の基本単位を基礎として構成されている。基本単位の定義は参考文献5に記されている。日本をはじめ世界のほぼすべての国では、計量に関する法規をSIに基づいて制定している。基本単位の名称と記号は次のとおりである。metreはmeterと表記されることが多い。

物 理 量	量の記号	SI 単 位 の 名 称	記 号
長 さ length	l	メ ー ト ル	metre
質 量 mass	m	キ ロ グ ラ ム	kilogram
時 間 time	t	秒	second
電 流 electric current	I	ア ン ベ ア	ampere
熱力学温度 thermodynamic temperature	T	ケ ル ビ ン	kelvin
物 質 量 amount of substance	n	モ ル	mole
光 度 luminous intensity	I_v	カ ン デ ラ	candela

物理量の記号は、ラテン文字またはギリシャ文字の1文字を用い、イタリック体（斜体）で印刷する。その内容をさらに明確にしたいときには、上つき添字または下つき添字（あるいは両方）に固有の意味をもたせて用い、さらに場合に応じて、記号の直後に説明をカッコに入れて加える。単位の記号はローマン体（立体）で印刷する。物理量の記号にも単位の記号にも、終わりにはピリオドをつけない。

「モル」という基本単位molの定義は、「0.012 kgの炭素12の中に存在する原子の数に等しい数の要素粒子(elementary entity)を含む系の物質量」である。この単位で表される「物質量」という基本量 $n(X)$ は、対象としている試料を構成している要素粒子Xの数 $N(X)$ に比例する [$n(X)=N(X)/N_A$]。すなわち、この比例定数はアボガドロ定数 N_A の逆数である。「要素粒子」とは「原子、分子、イオン、電子、光子、その他の粒子または前記粒子の特定の集合体」である。モルという単位を用いるときには、かならず要素粒子を化学式などで指定しなければならない。物質量を表していることが文脈から明らかであれば、略して単に、たとえば「この実験に用いた酸素分子 O_2 の量は1 molである」と表現してもよい。なお、「物質量」は昔から「モル数」とよばれていたが、「量の用語には特定の単位名を用いない」という基本原則に従って、「モル数、ミリモル数」などの用語は認められていない。これは「質量」という一般的な用語を、用いる単位により「キログラム数、ポンド数」などとよばないと同様である。

2. SI 接頭語

SI単位の10進の倍量および分量を表すためにSI接頭語が使われる。それらの名称と記号は次のとおりである^{a)}。

倍 数	接 頭 語	記 号	倍 数	接 頭 語	記 号
10^1	デ カ	deca	10^{-1}	デ シ	deci
10^2	ヘクト	hecto	10^{-2}	センチ	centi
10^3	キ ロ	kilo	10^{-3}	ミ リ	milli
10^6	メ ガ	mega	10^{-6}	マイクロ	micro
10^9	ギ ガ	giga	10^{-9}	ナ ノ	nano
10^{12}	テ ラ	tera	10^{-12}	ピ コ	pico
10^{15}	ペ タ	peta	10^{-15}	フェムト	femto
10^{18}	エクサ	exa	10^{-18}	ア ト	atto
10^{21}	ゼ タ	zetta	10^{-21}	ゼプト	zepto
10^{24}	ヨ タ	yotta	10^{-24}	ヨクト	yocto

a) 質量の単位の10進の分量あるいは倍量は、グラムに单一の接頭語をつけて表示する。たとえば、mg (μkg と書かない) ; Mg (kkg と書かない)。

3. 固有の名称と記号をもつSI組立単位の例^{a)}

物 理 量	SI 単位 の 名 称		記 号	SI 基本単位による表現
周波数・振動数	frequency	ヘルツ	hertz	Hz s^{-1}
力	force	ニュートン	newton	N $m kg s^{-2}$
圧力、応力	pressure, stress	パスカル	pascal	Pa $m^{-1} kg s^{-2} (= N m^{-2})$
エネルギー、仕事、熱量	energy, work, heat	ジュール	joule	J $m^2 kg s^{-2} (= N m = Pa m^3)$
工率、仕事率	power	ワット	watt	W $m^2 kg s^{-3} (= J s^{-1})$
電荷・電気量	electric charge	クーロン	coulomb	C $s A$
電位差(電圧)・起電力	electric potential difference, electromotive force	ボルト	volt	V $m^2 kg s^{-3} A^{-1} (= J C^{-1})$
静電容量・電気容量	capacitance	ファラド	farad	F $m^{-2} kg^{-1} s^4 A^2 (= C V^{-1})$
電気抵抗	electric resistance	オーム	ohm	Ω $m^2 kg s^{-3} A^{-2} (= V A^{-1})$
コンダクタンス	electric conductance	ジーメンス	siemens	S $m^{-2} kg^{-1} s^3 A^2 (= \Omega^{-1})$
磁 東	magnetic flux	ウェーバ	weber	Wb $m^2 kg s^{-2} A^{-1} (= V s)$
磁 東 密 度	magnetic flux density	テスラ	tesla	T $kg s^{-2} A^{-1} (= V s m^{-2})$
インダクタンス	inductance	ヘンリー	henry	H $m^2 kg s^{-2} A^{-2} (= V A^{-1} s)$
セルシウス温度 ^{b)}	Celsius temperature	セルシウス度	degree Celsius	°C K
平 面 角	plane angle	ラジアン	radian	rad 1
立 体 角	solid angle	ステラジアン	steradian	sr 1
放 射 能 ^{c)}	radioactivity	ベクレル	becquerel	Bq s^{-1}
吸 収 線 量 ^{c)}	absorbed dose	グレイ	gray	Gy $m^2 s^{-2} (= J kg^{-1})$
線 量 当 量 ^{c)}	dose equivalent	シーベルト	sievert	Sv $m^2 s^{-2} (= J kg^{-1})$
酵 素 活 性 ^{c)}	catalytic activity	カタール	katal	kat $mol s^{-1}$

a) 人名に由来する単位の記号は大文字で始め、その他の単位記号はすべて小文字とする。ただし体積の単位リットル1は数字の1とまぎらわしいので、例外として大文字Lを用いてもよい（イタリック体lとしない）。単位の名称は、人名に由来する場合でも（セルシウス度のCelsiusを除き）小文字で始める。

b) セルシウス温度は $\theta/^\circ\text{C} = T/\text{K} - 273.15$ と定義される。

c) 人の健康保護に関連して、1970年代の後半以降に導入された組立単位である。

4. SI以外の単位

4.1 SIと併用される単位

物 理 量	単 位 の 名 称		記 号	SI 単位による表現
時 間	time	分	minute	min 60s
時 間	time	時	hour	h 3600s
時 間	time	日	day	d $86\,400\text{s}$
平 面 角	plane angle	度	degree	° $(\pi/180)\text{ rad}$
体 積	volume	リットル	litre, liter	l, L 10^{-3}m^3
質 量	mass	ト ン	tonne, ton	t 10^3kg
長 さ	length	オングストローム	ångström	Å 10^{-10}m
压 力	pressure	バ ー ル	bar	bar 10^5Pa
面 積	area	バ ー ン	barn	b 10^{-28}m^2
エネルギー	energy	電子ボルト ^{a,b)}	electronvolt	eV $1.602\,18 \times 10^{-19}\text{J}$
質 量	mass	ダルトン ^{a,c)}	dalton	Da $1.660\,54 \times 10^{-27}\text{kg}$
		統一原子質量単位	unified atomic mass unit	u $1\text{u}=1\text{Da}$

a) 現時点でも最も正確と信じられている物理定数を用いて求めた値。正確な数値は、eVでは $1.602\,176\,487(40)$ 、Daでは $1.660\,538\,782(83)$ である。

b) 電子ボルトの大きさは、真空中で1Vの電位差の空間を通過することにより電子が得る運動エネルギーである。電子ボルトは、meV, keVのように、しばしばSI接頭語をつけて使われる。

c) Daは2006年から正式に承認されている。今まで使われていたuと同一の単位であり、「静止して基底状態にある自由な炭素原子¹²Cの質量の1/12に等しい質量」の記号である。高分子の質量を表すときにはkDa, MDaなど、原子あるいは分子の微小な質量差を表すときにはnDa, pDaなどのように、SI接頭語と組み合わせた単位を使うことができる。

4.2 そのほかの単位

以下にあげる単位は、従来の文献でよく使われたものである。この表は、それらの単位の身元を明らかにし、SI 単位への換算を示すためのものである。

物 理 量		単 位 の 名 称	記 号	SI 単位による表現	
力	force	ダ イ ン	dyne	10^{-5} N	
圧 力 ^{a)}	pressure	標準大気圧 (気圧)	standard atmosphere	atm	$101\,325$ Pa
圧 力	pressure	トル (mmHg)	torr (mmHg)	Torr	≈ 133.322 Pa
エネルギー	energy	エ ル グ	erg	10^{-7} J	
エネルギー ^{a)}	energy	熱化学カロリー	thermochemical calorie	cal _{th}	4.184 J
磁 束 密 度	magnetic flux density	ガ ウ ス	gauss	G	10^{-4} T
電 気 双 極 子 モーメント	electric dipole moment	デ バ イ	debye	D	$\approx 3.335\,641 \times 10^{-30}$ C m
粘 性 率	viscosity	ポ ア ズ	poise	P	10^{-1} Pa s
動 粘 性 率	kinematic viscosity	ストークス	stokes	St	10^{-4} m ² s ⁻¹
放 射 能 ^{a)}	radioactivity	キュリ ー	curie	Ci	3.7×10^{10} Bq
照 射 線 量 ^{a)}	exposure	レントゲン	röntgen	R	2.58×10^{-4} C kg ⁻¹
吸 収 線 量	absorbed dose	ラ ド	rad	rad	10^{-2} Gy
線 量 当 量	dose equivalent	レ ム	rem	rem	10^{-2} Sv

a) 定義された値である。

5. 基礎物理定数の値 (参考文献 7) カッコの中の数値は最後の桁につく標準不確かさを示す。

物 理 量	記 号	数 値	单 位
真空の透磁率 ^{a,b)}	μ_0	$4\pi \times 10^{-7}$	N A ⁻²
真空中の光速度 ^{a)}	c, c_0	299 792 458	m s ⁻¹
真空の誘電率 ^{a,c)}	$\epsilon_0 = 1/\mu_0 c^2$	$8.854\,187\,817\dots \times 10^{-12}$	F m ⁻¹
電 気 素 量	e	$1.602\,176\,487(40) \times 10^{-19}$	C
プランク定数	h	$6.626\,068\,96(33) \times 10^{-34}$	J s
アボガドロ定数	N_A, L	$6.022\,141\,79(30) \times 10^{23}$	mol ⁻¹
電 子 の 質 量	m_e	$9.109\,382\,15(45) \times 10^{-31}$	kg
陽 子 の 質 量	m_p	$1.672\,621\,637(83) \times 10^{-27}$	kg
中性子の質量	m_n	$1.674\,927\,211(84) \times 10^{-27}$	kg
原子質量定数 (統一原子質量単位)	$m_u = 1$ u	$1.660\,538\,782(83) \times 10^{-27}$	kg
ファラデー定数	F	$9.648\,533\,99(24) \times 10^4$	C mol ⁻¹
ハートリーエネルギー	E_h	$4.359\,743\,94(22) \times 10^{-18}$	J
ボーア半径	a_0	$5.291\,772\,085\,9(36) \times 10^{-11}$	m
ボーア磁子	μ_B	$9.274\,009\,15(23) \times 10^{-24}$	J T ⁻¹
核 磁 子	μ_N	$5.050\,783\,24(13) \times 10^{-27}$	J T ⁻¹
リュードベリ定数	R_∞	$1.097\,373\,156\,852\,7(73) \times 10^7$	m ⁻¹
気 体 定 数	R	8.314 472(15)	J K ⁻¹ mol ⁻¹
ボルツマン定数	k, k_B	$1.380\,650\,4(24) \times 10^{-23}$	J K ⁻¹
万有引力定数(重力定数)	G	$6.674\,28(67) \times 10^{-11}$	m ³ kg ⁻¹ s ⁻²
重力の標準加速度 ^{a)}	g_n	9.806 65	m s ⁻²
水 の 三 重 点 ^{a)}	$T_{tp}(H_2O)$	273.16	K
理想気体 (1 bar, 273.15 K) のモル体積	V_0	22.710 981(40)	L mol ⁻¹
標 準 大 気 壓 ^{a)}	atm	101 325	Pa
微細構造定数	$\alpha = \mu_0 e^2 c / 2h$	$7.297\,352\,537\,6(50) \times 10^{-3}$	
	α^{-1}	137.035 999 676(94)	
電子の磁気モーメント	μ_e	$-9.284\,763\,77(23) \times 10^{-24}$	J T ⁻¹
自由電子のランデ g 因子	$g_e = 2\mu_e/\mu_B$	-2.002 319 304 362 2(15)	
陽子の磁気モーメント	μ_p	$1.410\,606\,662(37) \times 10^{-26}$	J T ⁻¹

a) 定義された正確な値である。

b) 磁気定数 magnetic constant ともよばれる。

c) 電気定数 electric constant ともよばれる。

6. 参考文献

- 1) (a) A Concise Summary of Quantities, Units and Symbols in Physical Chemistry, IUPAC, Physical and Biophysical Chemistry Division, Commission on Physicochemical Symbols, Terminology and Units, J. Stohner, M. Quack, RSC Publishing (2009), (b) [物理化学で用いられる量・単位・記号 要約版], 日本化学会誌作成委員会 (2010)].
- 2) (a) Quantities, Units and Symbols in Physical Chemistry, IUPAC, Physical and Biophysical Chemistry Division, 3rd Edition, RSC Publishing (2007).
 (b) [物理化学で用いられる量・単位・記号, 第3版, 日本化学会監修, 産業技術総合研究所計量標準総合センター訳, 講談社 (2009)].
<http://www.chemistry.or.jp/activity/international/GreenBook.html> (本書全文と正誤表)
- 3) 化学で使う量の単位と記号, 日本化学会編, 朽津耕三著, 丸善 (2002).
- 4) 化学で使われる量の単位と用語, 第5版実験化学講座1, 基礎編I, 4.2., 日本化学会編, 丸善 (2003), p. 378.
- 5) 物理定数と諸単位, 化学便覧・基礎編I, 1, 日本化学会編, 丸善 (2004), p. 11.
- 6) Le Système International d'Unités (SI), Bureau International des Poids et Mesures, 8th French and English Edition, BIPM, Sèvres, 2006.
http://www.bipm.org/utils/common/pdf/si_brochure_8_en.pdf 国際単位系 (SI) 日本語版, 訳・監修 : (独)産業技術総合研究所・計量標準総合センター (2006), <http://www.nmji.jp/library/units/si/>
- 7) CODATAが推奨する基礎物理定数の速報値についてはP.J. Mohr, B.N. Taylor, D.B. Newell, Physics Today 60, 52 (2007) を参照。2006年の推奨値が決定された詳細については, P.J. Mohr, B.N. Taylor, D.B. Newell, Rev. Mod. Phys. 80, 633 (2008) を参照。基礎物理定数については, 藤井賢一, 大苗敦, 日本物理学会誌, 57, 239 (2002) と山田久美, 化学と工業, 66, 103 (2013) の解説を参照。

圧力単位の換算表^{a)} (参考文献2)

	Pa	kPa	bar	atm	mbar	Torr	psi
1 Pa	= 1	10^{-3}	10^{-5}	9.86923×10^{-6}	10^{-2}	7.50062×10^{-3}	1.45038×10^{-4}
1 kPa	= 10^3	1	10^{-2}	9.86923×10^{-3}	10	7.50062	0.145038
1 bar	= 10^5	10^2	1	0.986923	10^3	750.062	14.5038
1 atm	= 101.325	101.325	10^{-3}	1	101.325	760	14.6959
1 mbar	= 100	10^{-1}	10^{-3}	9.86923×10^{-4}	1	0.750062	1.45038×10^{-2}
1 Torr	\approx 133.322	0.133322	1.33322×10^{-3}	1.31579×10^{-3}	1.33322	1	1.93368×10^{-2}
1 psi	\approx 6894.76	6.89476	6.89476×10^{-2}	6.80460×10^{-2}	68.9476	51.71494	1

a) 換算表の使用例 : 1 bar \approx 0.986923 atm, 1 Torr \approx 133.322 Pa, 1 mmHg = 1 Torr (2×10^{-7} Torr 以内の差で成立する)

エネルギーに関係する単位の換算表^{a)} (参考文献2)

	波 数 \tilde{v}	振 動 数 v	エ ネ ル ギ ー E	E_h	モルエネルギー E_m	温 度 T	K
$\tilde{v} : 1 \text{ cm}^{-1}$	$\hat{=}$ 1	2.997925×10^4	1.986446×10^{-5}	1.239842×10^{-4}	4.556335×10^{-6}	11.96266×10^{-3}	2.859144×10^{-3}
$v : 1 \text{ MHz}$	$\hat{=}$ 3.335641 $\times 10^{-5}$	1	6.626069×10^{-10}	4.135667×10^{-9}	1.519830×10^{-10}	3.990313×10^{-7}	9.537076×10^{-8}
1 aJ	$\hat{=}$ 50.341.17	1.509190×10^9	1	6.241510	0.2293713	602.2142	143.9326
$E : 1 \text{ eV}$	$\hat{=}$ 8065.545	2.417989×10^8	0.1602176	1	3.674933×10^{-2}	96.48534	23.06055
$1 E_h$	$\hat{=}$ 219474.63	6.579684×10^9	4.359744	27.21138	1	2625.500	627.5095
$E_m : 1 \text{ kJ/mol}$	$\hat{=}$ 83.59347	2.506069×10^6	1.660539×10^{-3}	1.036427×10^{-2}	3.808799×10^{-4}	1	0.2390057
$E_m : 1 \text{ kcal/mol}$	$\hat{=}$ 349.7551	1.048539×10^7	6.947694×10^{-3}	4.336410×10^{-2}	1.593601×10^{-3}	4.184	1
$T : 1 \text{ K}$	$\hat{=}$ 0.6950356	2.083664×10^4	1.380650×10^{-5}	8.617343×10^{-5}	3.166815×10^{-6}	8.314472×10^{-3}	1.987207×10^{-3}
							1

a) 換算表の使用例 : 1 aJ = 1×10^{-18} J $\hat{=}$ 50.341 cm $^{-1}$, 1 eV $\hat{=}$ 96.4853 kJ mol $^{-1}$. $\hat{=}$ は “に対応する” あるいは “とほぼ等価である” (1を除く) という意味を表す。